PURESTORAGE®

日本の DX 推進における サステナビリティの現状および IT の課題に関する調査レポート

2023 年 7 月 20 日

目次

◆ **調査概要** **3**

◆ **回答者プロフィール** **4**

◆ **調査結果の要約** **5**

1. サステナビリティ浸透状況 6
2. サステナビリティ推進における IT 部門の役割と課題 10
3. DX 推進におけるサステナビリティの位置づけ 12

◆ **総括** **14**

◆ **調査結果の詳細** **16**

1. 関与業務の内訳 17
2. サステナビリティ浸透状況 23
3. サステナビリティ推進における IT 部門の役割と課題 34
4. DX 推進におけるサステナビリティの位置づけ 40

報告書内の記述について

※ n=30 未満は参考値として記載

※「＊」は非聴取項目

©2023 PURE STORAGE

調査概要

◆調査対象：　マクロミルモニタ 20～69 歳の男女
売上 1,000 億円以上の企業に勤める会社員・役員
サステナビリティ業務に関与している方
IT 関連サービス、通信関連サービス、DX 推進サービスのいずれかの関与度を回答した方

◆調査地域：　全国

◆調査方法：　インターネットリサーチ

◆調査時期：　2023年3月23日（木）～3月24日（金）

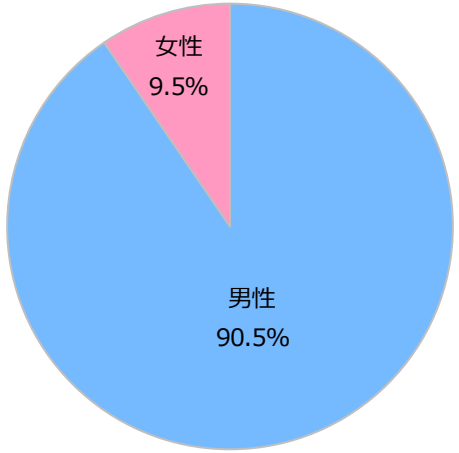
◆有効回答数：　【本調査】220 サンプル

◆調査実施機関：　株式会社マクロミル

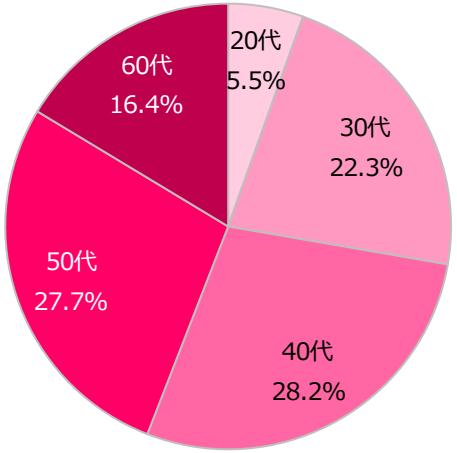
©2023 PURE STORAGE

回答者プロフィール　n=220

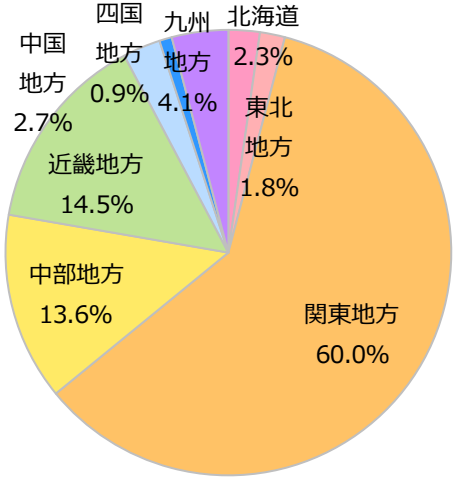
性別



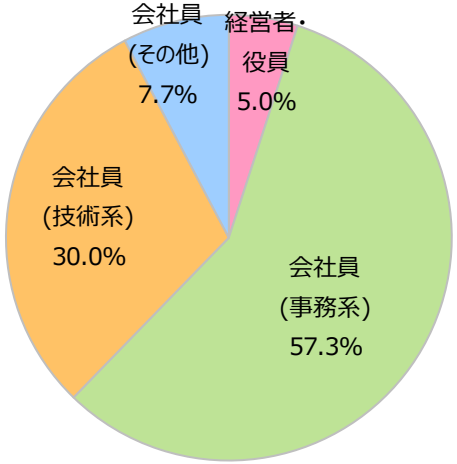
年齢



居住地



職業



©2023 PURE STORAGE

調査結果の要約

1. サステナビリティ浸透状況

©2023 PURE STORAGE

1-1. サステナビリティの目標設定と進捗状況

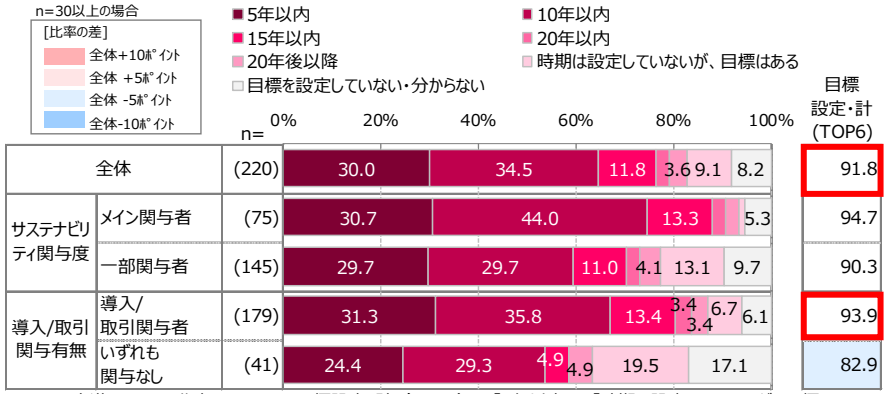
Topline

目標設定率は 92% で、うち 6 割は進捗に課題あり。特に「技術インフラ」の取り組み優先度が低くなる傾向。

- ✓ 目標設定時期について、全体では 92% が目標を設定している。導入/取引関係者では目標設定が 94% と高い割合を占める。
- ✓ 取り組みの進捗状況について、「5 年以内」では「順調に進めている」が半数を占める。一方で、20 年以内では「さらなる努力が必要」が 57% と最も高い。
- ✓ 目標検討時に優先度が低くなるものについて、「20 年以内」では、「技術インフラ」が 66%、「オフィス設備」が 53% と突出している。

サステナビリティの取り組みの目標設定時期（Q2）

※全ベース

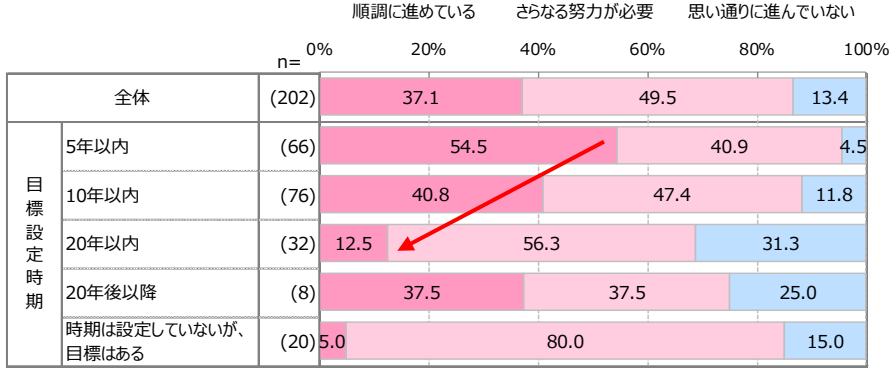


		n=	5年以内	10年以内	15年以内	20年以内	20年後以降	時期は設定していないが、目標はある	目標を設定していない・分からない	目標設定・計（TOP6）
全体		(220)	30.0	34.5	11.8	3.6	9.1	8.2		91.8
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	30.7	44.0	13.3			5.3		94.7
	一部関与者	(145)	29.7	29.7	11.0	4.1	13.1	9.7		90.3
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	31.3	35.8	13.4	3.4	3.4 6.7	6.1		93.9
	いずれも関与なし	(41)	24.4	29.3	4.9	4.9	19.5	17.1		82.9

※3.0%未満のスコアは非表示　※目標設定・計（TOP6）：「5年以内」～「時期は設定していないが、目標はある」

サステナビリティの取り組みの進捗状況（Q2×Q3）

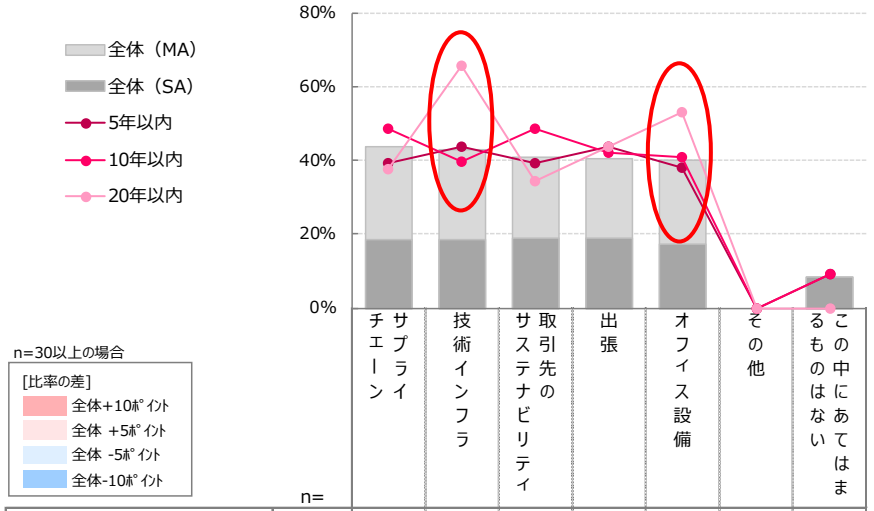
※目標設定者ベース



		n=	目標達成に向けて順調に進めている	進めてはいるが、さらなる努力が必要	計画はあるが、思い通りに進んでいない
全体		(202)	37.1	49.5	13.4
目標設定時期	5年以内	(66)	54.5	40.9	4.5
	10年以内	(76)	40.8	47.4	11.8
	20年以内	(32)	12.5	56.3	31.3
	20年後以降	(8)	37.5	37.5	25.0
	時期は設定していないが、目標はある	(20)	5.0	80.0	15.0

目標検討時に最も優先度が低くなってしまうもの（Q2×Q4）

※目標設定者ベース



		n=	サプライチェーン	技術インフラ	取引先のサステナビリティ	出張	オフィス設備	その他	この中にあてはまるものはない
全体（MA）		(202)	43.6	43.1	41.1	40.6	40.1	-	8.4
目標設定時期	5年以内	(66)	39.4	43.9	39.4	43.9	37.9	-	9.1
	10年以内	(76)	48.7	39.5	48.7	42.1	40.8	-	9.2
	20年以内	(32)	37.5	65.6	34.4	43.8	53.1	-	-
	20年後以降	(8)	50.0	25.0	37.5	25.0	25.0	-	12.5
	時期は設定していないが、目標はある	(20)	45.0	25.0	30.0	25.0	30.0	-	15.0
全体（SA）		(202)	18.3	18.3	18.8	18.8	17.3	-	8.4

※「全体（MA）」のスコアで降順にソート

©2023 PURE STORAGE

1-2. 積極的に行っているサステナビリティの取り組み

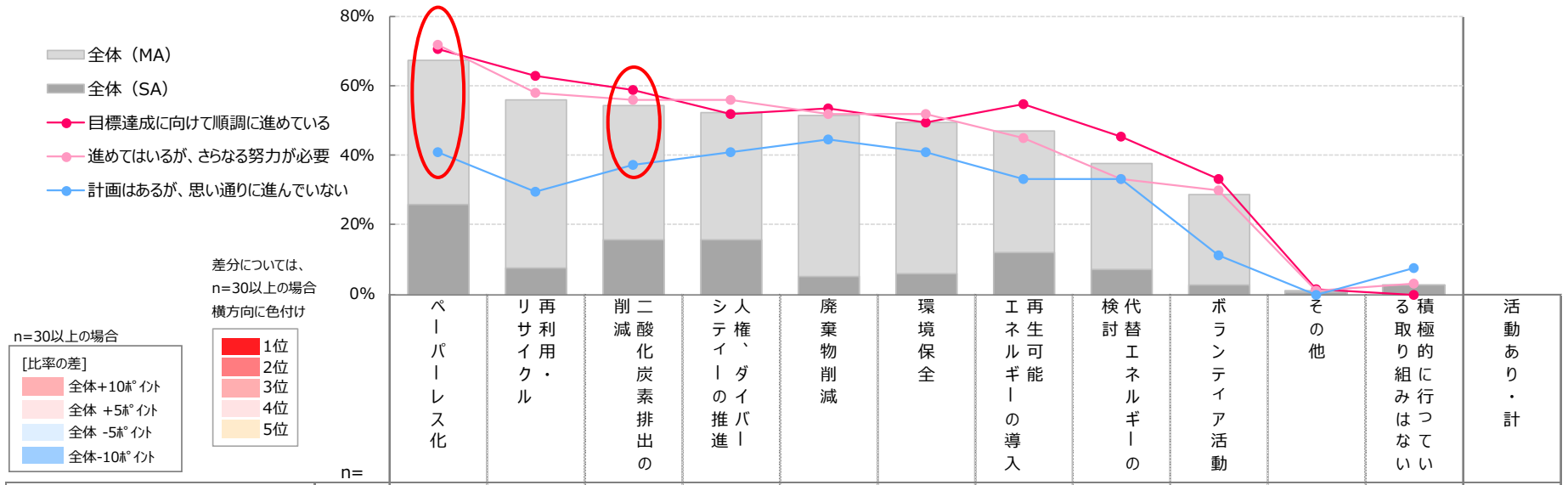
Topline

取り組みの進捗が順調な場合、「ペーパーレス化」「二酸化炭素排出の削減」が最も積極的に行われている。

- ✓ 最も積極的に行っている取り組みについて、全体では「ペーパーレス化」が 67% でトップ。以下、「二酸化炭素排出の削減」「人権、ダイバーシティの推進」と続く。
- ✓ 上記取り組みのうち「順調に進めている」「進めていない」の差分をみると、「ペーパーレス化」が 30pt、「二酸化炭素排出の削減」が 22pt と大きく開いている。

積極的に行っているサステナビリティの取り組み（Q1×Q3）

※目標設定者ベース



		n=	ペーパーレス化	再利用・リサイクル	二酸化炭素排出の削減	人権、ダイバーシティの推進	廃棄物削減	環境保全	再生可能エネルギーの導入	代替エネルギーの検討	ボランティア活動	その他	積極的に行っている取り組みはない	活動あり・計
全体（MA）		(202)	67.3	55.9	54.5	52.5	51.5	49.5	47.0	37.6	28.7	1.0	2.5	97.5
取り組み進行度	目標達成に向けて順調に進めている *1	(75)	70.7	62.7	58.7	52.0	53.3	49.3	54.7	45.3	33.3	1.3	-	100.0
	進めてはいるが、さらなる努力が必要	(100)	72.0	58.0	56.0	56.0	52.0	52.0	45.0	33.0	30.0	1.0	3.0	97.0
	計画はあるが、思い通りに進んでいない *2	(27)	40.7	29.6	37.0	40.7	44.4	40.7	33.3	33.3	11.1	-	7.4	92.6
全体（SA）		(202)	25.7	7.4	15.8	15.8	5.0	5.9	11.9	6.9	2.5	0.5	2.5	97.5
差分（「順調に進めている*1」－「進んでいない*2」）			29.9	33.0	21.6	11.3	8.9	8.6	21.3	12.0	22.2	1.3	-7.4	7.4

※「全体（MA）」のスコアで降順にソート

©2023 PURE STORAGE

1-3. 経営におけるサステナビリティの位置づけ

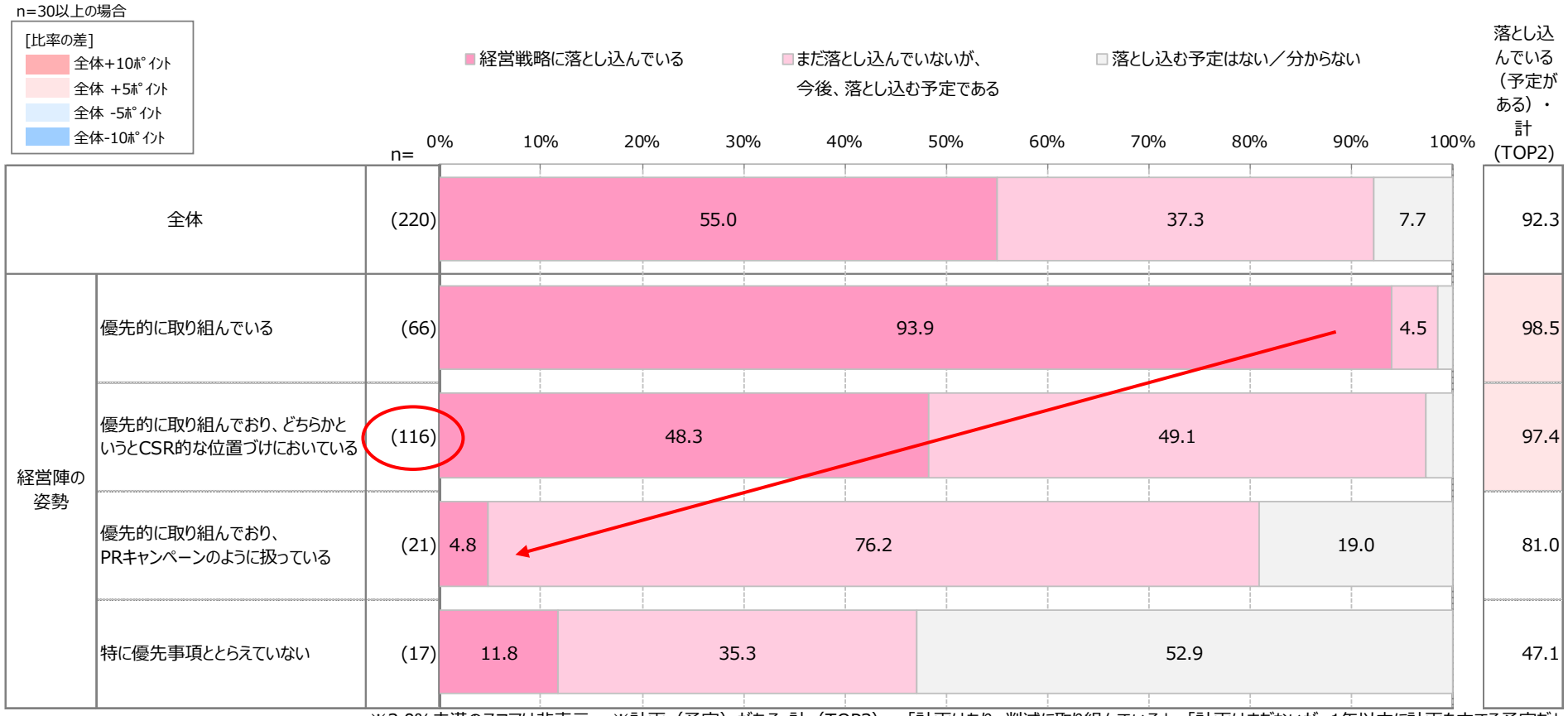
Topline

サステナビリティの取り組みを「CSR 的な立ち位置」においた組織では、取り組みを経営戦略に反映しきれていない。

- ✓ 経営戦略への落とし込み状況を全体でみると、「落とし込んでいる」「落とし込む予定がある」の合計は 92%。
- ✓ 経営陣の姿勢としては、「CSR 的な位置づけにおいている」がボリュームゾーン。そのうち経営戦略に取り組みを落とし込んでいる割合は 48% で、経営陣にとって、サステナビリティの取り組みの優先度は必ずしも高くはないことが窺える。

経営戦略への落とし込み状況（Q6×Q7）

※全ベース



※3.0%未満のスコアは非表示　※計画（予定）がある・計（TOP3）：「計画はあり、削減に取り組んでいる」～「計画はまだないが、1年以内に計画を立てる予定だ」

©2023 PURE STORAGE

2. サステナビリティ推進における IT 部門の役割と課題

©2023 PURE STORAGE

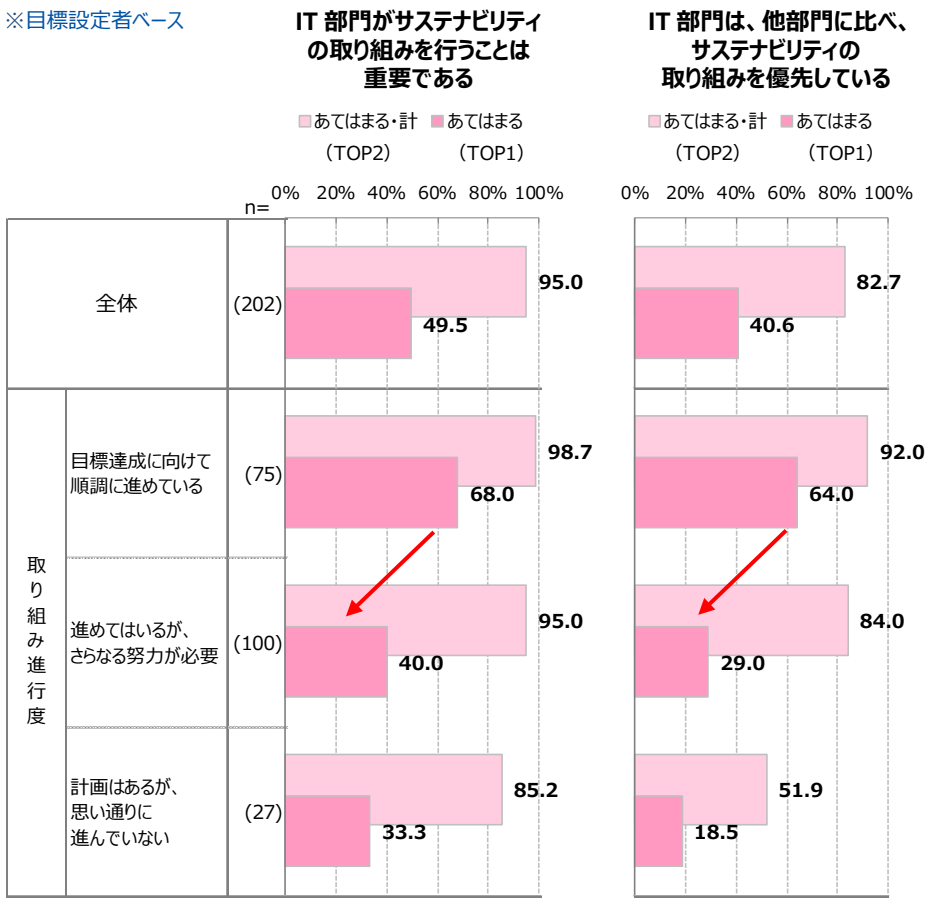
2-1. サステナビリティ推進におけるIT部門の役割と課題

Topline **IT 部門はサステナビリティ推進において重要な役割を担っているものの、その役割を十分に果たせていない。**

- ✓ IT 部門の重要度をみると、全体では「あてはまる（TOP1）」が 50%。同じく取り組み優先度では 41%。
  いずれの指標も、取り組み進行度別でみると「順調に進めている」組織でのスコアが最も高くなっている。
- ✓ 「IT インフラ・設備の効率的な運用」「電力消費量の削減」は IT 部門の役割と認識されている一方、課題にもなっている。

IT 部門の取り組み重要度と優先度（Q3×Q11）

※目標設定者ベース



※あてはまる・計（TOP2）：「あてはまる」+「ややあてはまる」

IT 部門の役割と課題（Q10/Q12）

※全ベース

IT部門の役割（Q10）
(n=220)

順位	項目	スコア
1位	ITインフラ・設備の効率的な運用	48.6%
2位	データセンターやITインフラの電力消費量削減	47.3%
3位	長期利用・再利用可能なITインフラ・設備の選定	42.3%
4位	従業員の労働環境改善や安全・健康確保へのIT利用	41.8%
5位	サステナビリティの取り組みに関するデータ活用・データ報告	40.9%
6位	効率的で環境に優しい移動や輸送の検討	38.6%
7位	取引先へのサステナビリティの取り組みの依頼・評価	32.7%
8位	分からない・この中にあてはまるものはない	4.5%
9位	その他	0.5%

IT部門の課題（ひとつだけ）
(n=220)

順位	項目	スコア
1位	ITインフラや設備を効率的に運用できていない	23.6%
2位	ITインフラや設備の炭素排出量や電力消費量の削減が不十分	22.7%
2位	取引先のサステナビリティを考慮できていない	22.7%
4位	ITインフラや設備の運用状況を示すデータの質が悪い／不十分	21.8%
5位	特に課題はない	8.6%
6位	その他	0.5%

※上位 10 項目を掲載
※MA 全体のスコアで作成

©2023 PURE STORAGE

3. DX 推進におけるサステナビリティの位置づけ

©2023 PURE STORAGE

3-1. DX推進におけるサステナビリティの位置づけ

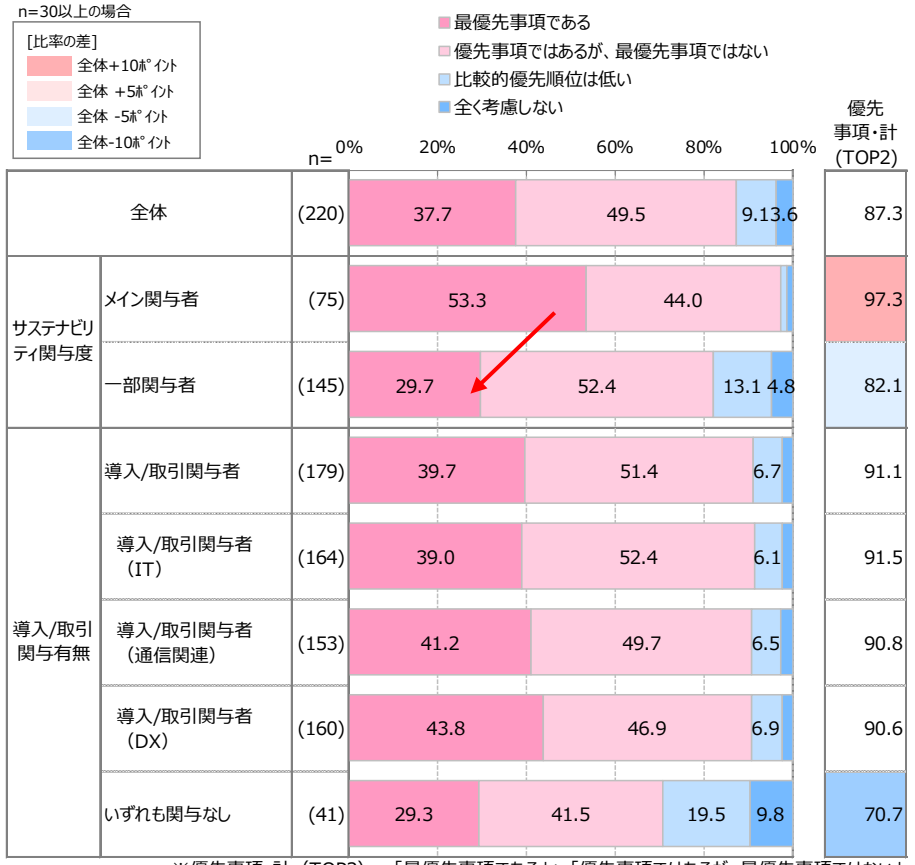
Topline

DX 推進においてサステナビリティは優先事項であると認識されているものの、現状では十分に考慮されていない。

- ✓ DX 推進におけるサステナビリティの優先度をみると、「最優先事項である」のスコアは、サステナビリティ業務のメイン関与者で 53%、一部関与者で 30% と乖離が見られる。一部関与者では、「優先事項ではあるが、最優先事項ではない」が 52% と最も高い。
- ✓ サステナビリティの考慮状況をみると、全体では「適切に考慮している」が約 3 割。優先度と同様、メイン関与者で 45%、一部関与者で 26% と乖離が見られる。

DX 推進におけるサステナビリティの優先度（Q13S2）

※全ベース

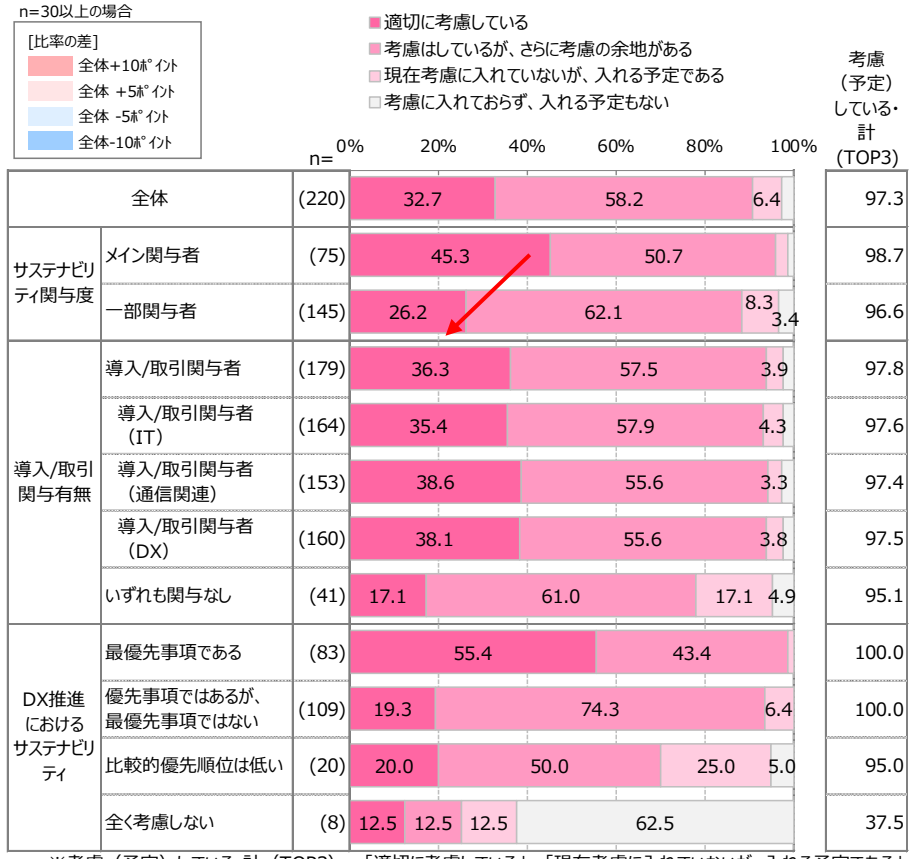


※3.0%未満のスコアは非表示

※優先事項・計（TOP2）：「最優先事項である」+「優先事項ではあるが、最優先事項ではない」

DX 推進におけるサステナビリティの考慮状況（Q15）

※全ベース



※考慮（予定）している・計（TOP3）：「適切に考慮している」～「現在考慮に入れていないが、入れる予定である」

©2023 PURE STORAGE

総括

総括

サステナビリティの取り組み浸透状況

サステナビリティ関与者の 9 割は目標を設定しているものの、目標までの期間が長いほど取り組みは進んでいない。
経営陣の姿勢では「CSR 的な位置づけ」が多く、経営戦略に落とし込む内容としての優先度は必ずしも高くない。

- ✓ 5 年以内に目標設定している組織では、サステナビリティの取り組みについて「順調に進めている」のスコアが半数を占める。一方で、20 年以内では「さらなる努力が必要」が 56% と最も高い（p7）。特に、最も積極的に行っている取り組みの「ペーパーレス化」「二酸化炭素排出の削減」において、目標達成に向けて取り組みが進んでいる組織と進んでいない組織とのギャップが大きく課題であると考えられる（p8）。
- ✓ 経営陣の姿勢としては、「CSR 的な位置づけにおいている」がボリュームゾーン。そのうち経営戦略に取り組みを落とし込んでいる割合は 48% で、経営陣にとって、サステナビリティの取り組みの優先度は必ずしも高くはないことが窺える（p9）。

サステナビリティ推進における IT 部門の役割と課題

IT 部門はサステナビリティの取り組みを進める上で重要な役割を担う一方、多くの組織では課題も多く残っている。

- ✓ サステナビリティ関与者の 9 割が「 IT 部門がサステナビリティの取り組みを行うことは重要」と評価している。また、目標達成の取り組みの進捗が順調な組織ほど、IT 部門が他部門に比べてサステナビリティの取り組みを優先している傾向にある（p11）。
- ✓ IT 部門の主な役割は「IT インフラ・設備の効率的な運用」「データセンターやインフラの電力消費量削減」のスコアが高い。しかし現状では、IT 部門の課題として「IT インフラや設備の炭素排出量や電力消費量の削減が不十分」が挙がり、役割が十分に果たせていない様子が見られる（p11）。

DX 推進におけるサステナビリティの位置づけ

サステナビリティは優先事項であると認識されているものの、現状では十分に考慮されていない。

- ✓ 「最優先事項である」のスコアは、サステナビリティ業務のメイン関与者で 53%、一部関与者で 30% と乖離が見られる。一部関与者では、「優先事項ではあるが、最優先事項ではない」が 52% と最も高い（p12）。
- ✓ また、DX を進めるにあたり、サステナビリティを「適切に考慮している」と答えた方は 3 割にとどまり、「さらに考慮の余地がある」は過半数を超える（p12）。

考察・提言

事前の仮説通り、「サステナビリティの取り組みにおける IT 部門の役割は大きく、同時に課題も残存している」「DX を推進するうえでもサステナビリティは重要だが、なかなか考慮できていない」という結果となった。以上から、もともと打ち出したいメッセージとしてお伺いしていた**「DX を推進するうえで、ピュア・ストレージの製品など、サステナブルなテクノロジー・インフラを検討・導入することが第一歩で、大きな効果が期待される」といった内容は、ピュアストレージの製品をPRする上で効果的**と考えられる。

経営戦略におけるサステナビリティの取り組みについては、仮説と異なる結果となり、半数以上が「経営戦略に落とし込んでいる」と回答した。ただ「経営陣の姿勢」によっては差が見られ、特に CSR・PR 的な位置づけにおいている場合、「まだ落とし込んでいない」割合のほうが高かったため、**経営戦略との関係を打ち出す際は、経営陣の姿勢とあわせて伝えることが望ましい**と考える。

©2023 PURE STORAGE

調査結果の詳細

1. 関与業務の内訳

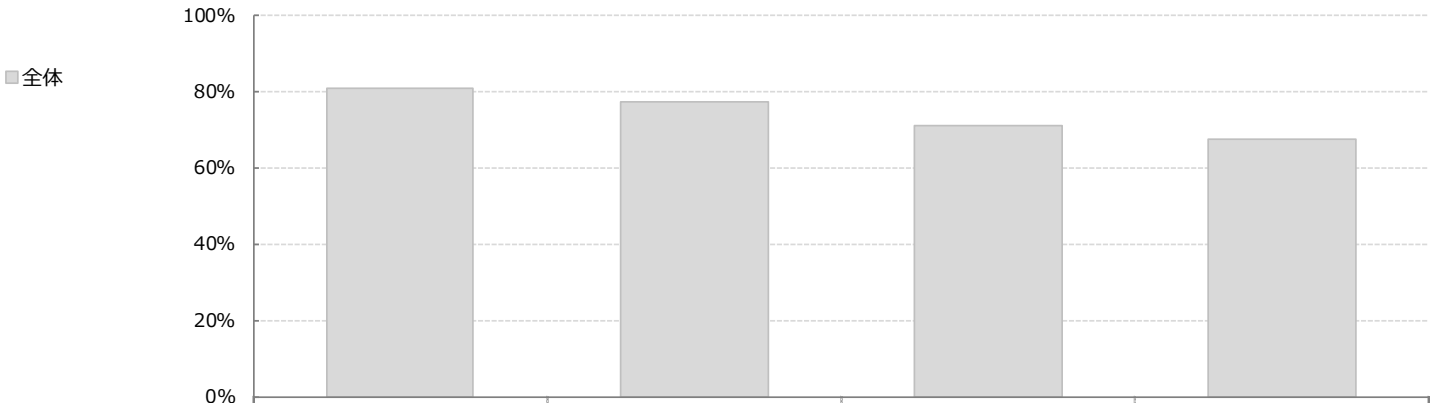
©2023 PURE STORAGE

1-1. 関与業務（関与あり・計）

- ✓ 関与業務について、全体では「経営戦略・事業戦略」が 81% でトップ。以下、「事業開発」が77%、「総務」が 71%、「購買」が 68% の順。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、いずれの業務も『メイン関与者』が『一部関与者』を上回り、差が見られる。
- ✓ 導入／取引関与有無別では、『通信関連関与者』でいずれの業務もスコアが高く、全体を上回る。

SQ3 あなたは現在勤めている企業で、以下の業務にどの程度関与していますか。※複数の企業で働かれている方は、メインに働いている企業についてお選びください。 **MTS**

※全ベース



n=30以上の場合
[比率の差]
全体+10ﾎﾟｲﾝﾄ
全体 +5ﾎﾟｲﾝﾄ
全体 -5ﾎﾟｲﾝﾄ
全体-10ﾎﾟｲﾝﾄ

		n=	経営戦略・事業戦略	事業開発	総務	購買
全体		(220)	80.9	77.3	71.4	67.7
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	96.0	93.3	93.3	93.3
	一部関与者	(145)	73.1	69.0	60.0	54.5
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	85.5	82.7	75.4	74.3
	導入/取引関与者（IT）	(164)	87.2	84.8	76.2	76.8
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	88.9	85.6	78.4	75.8
	導入/取引関与者（DX）	(160)	85.6	83.8	75.6	73.1
	いずれも関与なし	(41)	61.0	53.7	53.7	39.0
関与業務	事業開発	(170)	92.4	100.0	74.7	74.1
	経営戦略	(178)	100.0	88.2	75.8	71.3
	購買	(149)	85.2	84.6	83.9	100.0
	総務	(157)	86.0	80.9	100.0	79.6
職業	経営者・役員	(11)	100.0	90.9	90.9	72.7
	会社員	(209)	79.9	76.6	70.3	67.5

※TOP2スコア（「メインの業務として関与している」+「メインではないが、一部関与している」掲載）　※「全体」のスコアで降順にソート

©2023 PURE STORAGE

1-2. 関与業務（サステナビリティ）

- ✓ サステナビリティ関与について、全体では「メインの業務として関与している」が 34%、「メインではないが、一部関与している」が 66% の割合。
- ✓ 導入／取引関与有無別で見ると、「メインの業務として関与」は『導入/取引関与者』で約 4 割を占める。また、『IT 関与者』『通信関連関与者』『DX サービス関与者』では 4 割強と高め。
- ✓ 職業別で見ると、『経営者・役員』で「メインの業務として関与」割合が 6 割強となっており、『会社員』の 3 割強を大きく上回る。（※n=30 未満のため参考値）

SQ3S3　あなたは現在勤めている企業で、以下の業務にどの程度関与していますか。※複数の企業で働かれている方は、メインに働いている企業についてお選びください。／サステナビリティ　**SA**

※全ベース

■メインの業務として関与している　□メインではないが、一部関与している

		n=	メインの業務として関与している	メインではないが、一部関与している
全体		(220)	34.1	65.9
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	40.8	59.2
	導入/取引関与者（IT）	(164)	42.1	57.9
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	44.4	55.6
	導入/取引関与者（DX）	(160)	41.9	58.1
	いずれも関与なし	(41)	4.9	95.1
関与業務	事業開発	(170)	41.2	58.8
	経営戦略	(178)	40.4	59.6
	購買	(149)	47.0	53.0
	総務	(157)	44.6	55.4
職業	経営者・役員	(11)	63.6	36.4
	会社員	(209)	32.5	67.5

©2023 PURE STORAGE

1-3. 導入・取引関与有無（IT 関連のサービス）

- ✓ IT 関連のサービスの導入・取引関与について、全体では「最終決裁をしている」が 30%、「商談窓口をしている」が 23%、「担当者ではないが、意見を述べることがある」が 22% となっており、導入/取引関係者・計は 75%。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、導入/取引関係者・計は『メイン関与者』で 92% と高いが、『一部関与者』では 66% にとどまり、差が見られる。
- ✓ 関与業務別では、『購買』の導入/取引関係者・計が 85% となっており、関与業務の中では最も高い割合を占める。

SQ4S1 IT 関連のサービス、通信関連サービス、DX 推進に関わるサービスにおける、あなたの勤務先での購入（導入）決定・選定・取引決定に関するあなたご自身の関わりについて、それぞれあてはまるものをお選びください。【IT 関連のサービス】 **SA**

※全ベース

n=30以上の場合
[比率の差]
全体+10ﾎﾟｲﾝﾄ
全体 +5ﾎﾟｲﾝﾄ
全体 -5ﾎﾟｲﾝﾄ
全体-10ﾎﾟｲﾝﾄ

■購入（導入）／取引の最終決裁をしている
■購入（導入）／取引の商談窓口をしている。また、購入・導入／取引の提案をしたり、サービス／業者の選定をしたりしている
■直接の商談窓口担当者ではないが、購入（導入）・選定／取引の際、意見を述べたり、意見を求められたりすることがある
■通常、サービスを使用するのみで、購入（導入）決定・選定には関与しない
■通常、サービスを使用しておらず、購入（導入）決定・選定にも関与しない
■分からない

		n=	購入（導入）／取引の最終決裁をしている	購入（導入）／取引の商談窓口をしている。また、購入・導入／取引の提案をしたり、サービス／業者の選定をしたりしている	直接の商談窓口担当者ではないが、購入（導入）・選定／取引の際、意見を述べたり、意見を求められたりすることがある	通常、サービスを使用するのみで、購入（導入）決定・選定には関与しない	通常、サービスを使用しておらず、購入（導入）決定・選定にも関与しない	分からない	導入/取引関係者・計(TOP3)
全体		(220)	30.0	22.7	21.8	16.8	7.7		74.5
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	54.7	29.3	8.0	8.0			92.0
	一部関与者	(145)	17.2	19.3	29.0	21.4	11.7		65.5
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	36.9	27.9	26.8	5.6			91.6
	導入/取引関与者（IT）	(164)	40.2	30.5	29.3				100.0
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	39.9	31.4	24.2	3.3			95.4
	導入/取引関与者（DX）	(160)	39.4	29.4	23.8	5.6			92.5
	いずれも関与なし	(41)	65.9			34.1			0.0
関与業務	事業開発	(170)	37.6	26.5	17.6	14.1			81.8
	経営戦略	(178)	36.0	25.3	19.1	14.6	4.5		80.3
	購買	(149)	38.3	28.2	18.1	9.4	5.4		84.6
	総務	(157)	35.7	25.5	18.5	12.7	7.0		79.6
職業	経営者・役員	(11)	90.9				9.1		100.0
	会社員	(209)	26.8	23.9	22.5	17.7	8.1		73.2

※3.0%未満のスコアは非表示

※導入/取引関係者（TOP3）：「最終決裁をしている」～「直接の商談窓口担当者ではないが、意見を述べたり、意見を求められたりすることがある」

©2023 PURE STORAGE

1-4. 導入・取引関与有無（通信関連サービス）

- ✓ 通信関連サービスの導入・取引関与について、全体では「最終決裁をしている」が 21%、「商談窓口をしている」が 27%、「担当者ではないが、意見を述べることがある」が 21% となっており、導入/取引関係者・計は 70%。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、導入／取引関係者・計は『メイン関与者』で 91% と高いが、『一部関与者』では 59% にとどまり、差が大きい。

SQ4S2 IT 関連のサービス、通信関連サービス、DX 推進に関わるサービスにおける、あなたの勤務先での購入（導入）決定・選定・取引決定に関するあなたご自身の関わりについて、それぞれあてはまるものをお選びください。【通信関連サービス】 **SA**

※全ベース

n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ﾎﾟｲﾝﾄ
- 全体 +5ﾎﾟｲﾝﾄ
- 全体 -5ﾎﾟｲﾝﾄ
- 全体-10ﾎﾟｲﾝﾄ

■購入（導入）／取引の最終決裁をしている ■購入（導入）／取引の商談窓口をしている。また、購入・導入／取引の提案をしたり、サービス／業者の選定をしたりしている ■直接の商談窓口担当者ではないが、購入（導入）・選定／取引の際、意見を述べたり、意見を求められたりすることがある ■通常、サービスを使用するのみで、購入（導入）決定・選定には関与しない ■通常、サービスを使用しておらず、購入（導入）決定・選定にも関与しない ■分からない

		n=	購入（導入）／取引の最終決裁をしている	購入（導入）／取引の商談窓口をしている。また、購入・導入／取引の提案をしたり、サービス／業者の選定をしたりしている	直接の商談窓口担当者ではないが、購入（導入）・選定／取引の際、意見を述べたり、意見を求められたりすることがある	通常、サービスを使用するのみで、購入（導入）決定・選定には関与しない	通常、サービスを使用しておらず、購入（導入）決定・選定にも関与しない	分からない	導入/取引関係者・計(TOP3)
全体		(220)	21.4	26.8	21.4	18.6	9.5		69.5
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	37.3	41.3	12.0	5.3	4.0		90.7
	一部関与者	(145)	13.1	19.3	26.2	25.5	12.4	3.4	58.6
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	26.3	33.0	26.3	8.4	4.5		85.5
	導入/取引関与者（IT）	(164)	28.7	34.8	25.6	6.7	3.0		89.0
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	30.7	38.6	30.7				100.0
	導入/取引関与者（DX）	(160)	28.8	34.4	23.1	8.1	4.4		86.3
	いずれも関与なし	(41)	63.4		31.7			4.9	0.0
関与業務	事業開発	(170)	26.5	31.2	19.4	14.1	6.5		77.1
	経営戦略	(178)	26.4	29.2	20.8	14.0	7.3		76.4
	購買	(149)	27.5	32.9	17.4	12.1	8.7		77.9
	総務	(157)	25.5	29.9	21.0	13.4	8.3		76.4
職業	経営者・役員	(11)	72.7			9.1	9.1	9.1	90.9
	会社員	(209)	18.7	27.8	22.0	19.1	10.0		68.4

※3.0%未満のスコアは非表示

※導入/取引関係者（TOP3）：「最終決裁をしている」～「直接の商談窓口担当者ではないが、意見を述べたり、意見を求められたりすることがある」

©2023 PURE STORAGE

1-5. 導入・取引関与有無（DX 推進サービス）

- ✓ DX 推進サービスの導入・取引関与について、全体では「最終決裁をしている」が 26%、「商談窓口をしている」が 21%、「担当者ではないが、意見を述べることがある」が 26% となっており、導入/取引関係者・計は 73%。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、導入/取引関係者・計は『メイン関与者』で 89% と高いが、『一部関与者』では 64% にとどまり、差が見られる。
- ✓ 関与業務別では、『事業開発』『購買』の導入/取引関係者・計が約 8 割となっており、関与業務の中では高めの割合。

SQ4S3 IT 関連のサービス、通信関連サービス、DX 推進に関わるサービスにおける、あなたの勤務先での購入（導入）決定・選定・取引決定に関するあなたご自身の関わりについて、それぞれあてはまるものをお選びください。【DX 推進サービス】 **SA**

※全ベース

n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体-10ポイント

■購入（導入）／取引の最終決裁をしている ■購入（導入）／取引の商談窓口をしている。また、購入・導入／取引の提案をしたり、サービス／業者の選定をしたりしている ■直接の商談窓口担当者ではないが、購入（導入）・選定／取引の際、意見を述べたり、意見を求められたりすることがある ■通常、サービスを使用するのみで、購入（導入）決定・選定には関与しない ■通常、サービスを使用しておらず、購入（導入）決定・選定にも関与しない ■分からない

		n=	購入（導入）／取引の最終決裁をしている	購入（導入）／取引の商談窓口をしている。また、購入・導入／取引の提案をしたり、サービス／業者の選定をしたりしている	直接の商談窓口担当者ではないが、購入（導入）・選定／取引の際、意見を述べたり、意見を求められたりすることがある	通常、サービスを使用するのみで、購入（導入）決定・選定には関与しない	通常、サービスを使用しておらず、購入（導入）決定・選定にも関与しない	分からない	導入/取引関係者・計(TOP3)
全体		(220)	25.5	21.4	25.9	16.4	9.1		72.7
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	40.0	30.7	18.7	5.3			89.3
	一部関与者	(145)	17.9	16.6	29.7	22.1	12.4		64.1
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	31.3	26.3	31.8	6.7			89.4
	導入/取引関与者（IT）	(164)	32.9	26.8	30.5	6.7			90.2
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	34.0	28.8	27.5	5.2			90.2
	導入/取引関与者（DX）	(160)	35.0	29.4	35.6				100.0
	いずれも関与なし	(41)	58.5		39.0				0.0
関与業務	事業開発	(170)	30.6	25.9	22.4	13.5	5.9		78.8
	経営戦略	(178)	30.9	24.2	21.9	14.0	7.3		77.0
	購買	(149)	30.2	24.8	23.5	12.1	8.1		78.5
	総務	(157)	29.9	22.3	24.8	12.7	8.9		77.1
職業	経営者・役員	(11)	90.9				9.1		100.0
	会社員	(209)	22.0	22.5	26.8	17.2	9.6		71.3

※3.0%未満のスコアは非表示

※導入/取引関係者（TOP3）：「最終決裁をしている」～「直接の商談窓口担当者ではないが、意見を述べたり、意見を求められたりすることがある」

©2023 PURE STORAGE

2. サステナビリティ浸透状況

©2023 PURE STORAGE

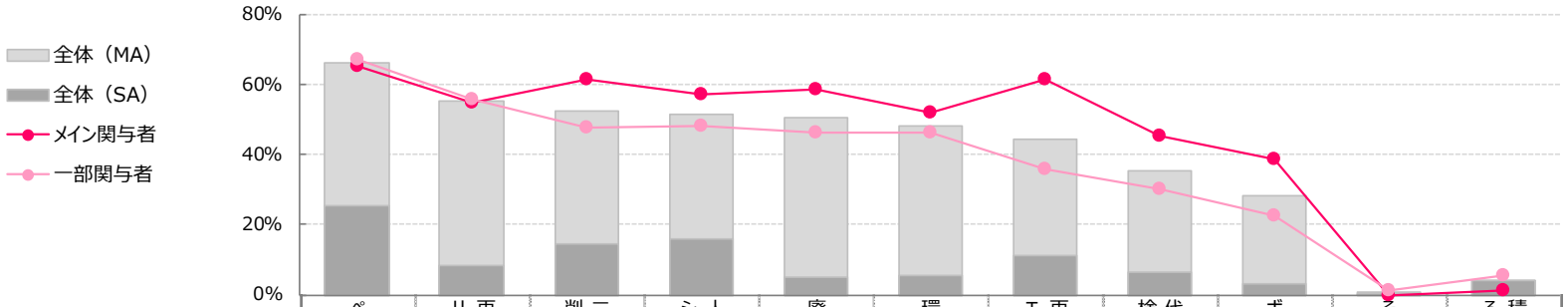
2-1. 積極的に行っているサステナビリティの取り組み

- ✓ 積極的に行っている取り組みについて、全体では「ペーパーレス化」が 66% でトップ。以下、「再利用・リサイクル」が 56%、「二酸化炭素排出の削減」が 52%、「人権、ダイバーシティーの推進」「廃棄物削減」が 51% で続く。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、多くの項目で『メイン関与者』が『一部関与者』のスコアを上回る。特に「再生可能エネルギーの導入」で差が著しい。ただし、「ペーパーレス化」「再利用・リサイクル」は、『メイン関与者』と『一部関与者』の差が小さい。

Q1 あなたの所属組織における、「サステナビリティの取り組み」についてお聞きします。あなたの所属組織では、どのような取り組みを積極的に行っていますか。あてはまる活動を全てお選びください。
また、最も積極的に行っている活動をひとつだけお選びください。

MASA

※全ベース



n=30以上の場合
[比率の差]
全体+10ﾎﾟｲﾝﾄ
全体 +5ﾎﾟｲﾝﾄ
全体 -5ﾎﾟｲﾝﾄ
全体-10ﾎﾟｲﾝﾄ

		n=	ペーパーレス化	再利用・リサイクル	二酸化炭素排出の削減	人権、ダイバーシティーの推進	廃棄物削減	環境保全	再生可能エネルギーの導入	代替エネルギーの検討	ボランティア活動	その他	積極的に行っている取り組みはない
全体（MA）		(220)	66.4	55.5	52.3	51.4	50.5	48.2	44.5	35.5	28.2	0.9	4.1
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	65.3	54.7	61.3	57.3	58.7	52.0	61.3	45.3	38.7	-	1.3
	一部関与者	(145)	66.9	55.9	47.6	48.3	46.2	46.2	35.9	30.3	22.8	1.4	5.5
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	68.2	55.9	53.1	52.5	51.4	48.0	46.4	37.4	29.1	0.6	1.7
	導入/取引関与者（IT）	(164)	68.9	56.7	54.9	52.4	53.0	49.4	47.0	37.8	30.5	0.6	1.8
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	69.3	57.5	52.9	55.6	53.6	49.7	48.4	37.3	32.7	-	1.3
	導入/取引関与者（DX）	(160)	70.0	57.5	55.0	53.1	51.3	48.1	48.1	38.8	30.6	0.6	1.9
	いずれも関与なし	(41)	58.5	53.7	48.8	46.3	46.3	48.8	36.6	26.8	24.4	2.4	14.6
関与業務	事業開発	(170)	65.9	54.7	54.7	54.7	51.8	51.8	49.4	39.4	31.8	0.6	2.4
	経営戦略	(178)	66.9	55.6	52.8	52.8	50.6	50.6	48.3	37.6	30.3	1.1	3.4
	購買	(149)	64.4	51.7	53.7	49.7	49.7	47.7	44.3	38.9	31.5	-	3.4
	総務	(157)	64.3	53.5	49.0	51.6	50.3	49.0	45.2	38.2	30.6	-	3.2
職業	経営者・役員	(11)	72.7	54.5	45.5	72.7	54.5	36.4	45.5	36.4	18.2	-	9.1
	会社員	(209)	66.0	55.5	52.6	50.2	50.2	48.8	44.5	35.4	28.7	1.0	3.8
全体（SA）		(220)	25.5	8.2	14.5	15.9	5.0	5.5	11.4	6.4	3.2	0.5	4.1

※「全体（MA）」のスコアで降順にソート

©2023 PURE STORAGE

2-2. サステナビリティ目標の設定状況

- ✓ 目標達成時期について、全体では「10 年以内」が 35% で最も高い割合を占め、「5 年以内」が 30% で次ぐ。なお、目標設定・計は 92%。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、「5 年以内」の割合は『メイン関与者』『一部関与者』いずれも約 3 割となっているが、「10 年以内」の割合は『メイン関与者』で 44% と高く、『一部関与者』との差が目立つ。

Q2 あなたの所属組織は、具体的なサステナビリティ目標を「何年以内に達成する」といった時期的な目標を設定していますか。あてはまるものをお選びください。 **SA**

※全ベース

n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体-10ポイント

■5年以内 ■10年以内 ■15年以内 ■20年以内 ■20年後以降 □時期は設定していないが、目標はある □目標を設定していない・分からない

		n=	5年以内	10年以内	15年以内	20年以内	20年後以降	時期は設定していないが、目標はある	目標を設定していない・分からない	目標設定・計(TOP6)
全体		(220)	30.0	34.5	11.8	3.6	9.1	8.2		91.8
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	30.7	44.0	13.3			5.3		94.7
	一部関与者	(145)	29.7	29.7	11.0	4.1	13.1	9.7		90.3
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	31.3	35.8	13.4	3.4	3.4	6.7	6.1	93.9
	導入/取引関与者（IT）	(164)	31.1	37.8	12.2	3.0	3.0	6.7	6.1	93.9
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	32.0	37.3	13.1		3.3	5.9	5.9	94.1
	導入/取引関与者（DX）	(160)	31.9	36.9	13.8			6.9	5.6	94.4
	いずれも関与なし	(41)	24.4	29.3	4.9	4.9	19.5	17.1		82.9
関与業務	事業開発	(170)	31.8	37.1	12.4			8.2	5.9	94.1
	経営戦略	(178)	32.0	35.4	10.1		3.4	9.6	6.7	93.3
	購買	(149)	30.9	32.9	12.1	4.0	3.4	8.7	8.1	91.9
	総務	(157)	28.7	34.4	11.5		3.8	10.8	8.3	91.7
職業	経営者・役員	(11)	63.6		18.2			18.2		81.8
	会社員	(209)	28.2	35.4	12.4		3.8	9.6	7.7	92.3

※3.0%未満のスコアは非表示

※目標設定・計（TOP6）：「5年以内」～「時期は設定していないが、目標はある」

©2023 PURE STORAGE

2-3. サステナビリティの取り組みの進捗状況

- ✓ サステナビリティ取り組みの進捗状況について、全体では「順調に進めている」が 34%、「進めてはいるが、さらなる努力が必要」が 48% となっており、進めている・計は 82%。なお、「計画はあるが、思い通りに進んでいない」は 16%。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、「順調に進めている」は『メイン関与者』で 51% と高く、『一部関与者』の 26% を大きく上回る。
- ✓ 導入／取引関与有無別で見ると、『いずれも関与なし』層は進めている・計が約 7 割にとどまり、他層と比べて低い。

Q3 あなたの所属組織では、「サステナビリティの取り組み」はどの程度進んでいますか。 **SA**

※全ベース

n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体-10ポイント

■目標達成に向けて順調に進めている　■進めてはいるが、さらなる努力が必要　■計画はあるが、思い通りに進んでいない　■全く進展していない　□分からない

		n=	目標達成に向けて順調に進めている	進めてはいるが、さらなる努力が必要	計画はあるが、思い通りに進んでいない	全く進展していない	分からない	進めている・計(TOP2)
全体		(220)	34.1	47.7	15.9			81.8
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	50.7	36.0	12.0			86.7
	一部関与者	(145)	25.5	53.8	17.9			79.3
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	38.0	46.4	13.4			84.4
	導入/取引関与者（IT）	(164)	39.0	45.1	13.4			84.1
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	39.9	46.4	11.8			86.3
	導入/取引関与者（DX）	(160)	39.4	46.9	11.3			86.3
	いずれも関与なし	(41)	17.1	53.7	26.8			70.7
関与業務	事業開発	(170)	39.4	43.5	15.3			82.9
	経営戦略	(178)	38.2	45.5	14.0			83.7
	購買	(149)	39.6	41.6	16.8			81.2
	総務	(157)	36.9	43.9	16.6			80.9
職業	経営者・役員	(11)	45.5	45.5	9.1			90.9
	会社員	(209)	33.5	47.8	16.7			81.3

※3.0%未満のスコアは非表示　※進めている・計（TOP2）：「目標達成に向けて順調に進めている」+「進めてはいるが、さらなる努力が必要」

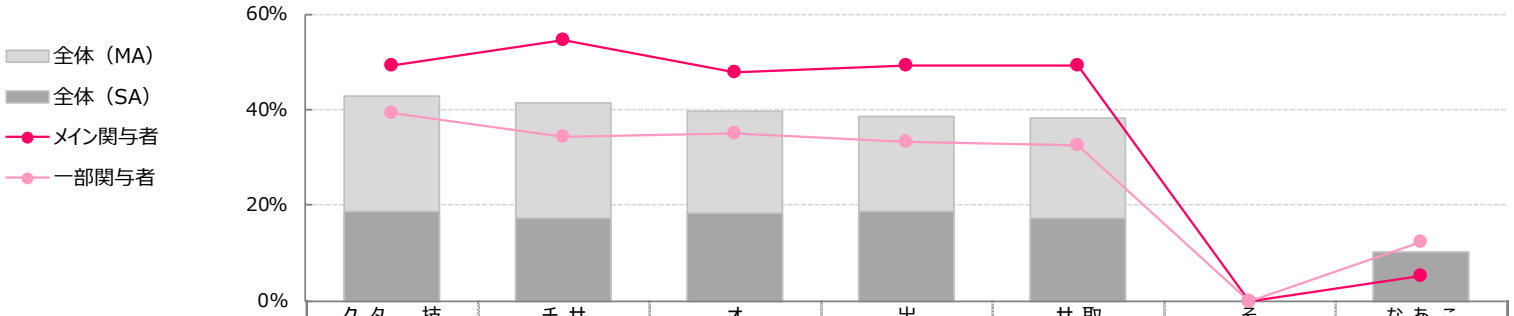
©2023 PURE STORAGE

2-4. サステナビリティ目標検討時の状況

- ✓ 検討時に優先度が低くなるものついて、全体では「技術インフラ」が 43% でトップに挙げられ、以下、「サプライチェーン」が 41%、「オフィス設備」が 40%、「出張」が 39%、「取引先のサステナビリティ」が 38% で続く。なお、SA で見ると、「技術インフラ」「出張」が 19% でトップに挙げられ、MAと並びが異なる。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、いずれの項目も『メイン関与者』が『一部関与者』を上回る。特に「サプライチェーン」で差が目立つ。
- ✓ 導入／取引関与有無別で見ると、『通信関連関与者』で「オフィス設備」のスコアが高め。

Q4 あなたの所属組織がサステナビリティの目標を検討する際に、取り組みの優先度が低くなってしまうものがあるとすれば、以下のうちどれにあてはまりますか。 **MASA**

※全ベース



n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ﾎﾟｲﾝﾄ
- 全体 +5ﾎﾟｲﾝﾄ
- 全体 -5ﾎﾟｲﾝﾄ
- 全体-10ﾎﾟｲﾝﾄ

		n=	技術インフラ（データセンター、パブリッククラウドなど）	サプライチェーン	オフィス設備	出張	取引先のサステナビリティ	その他	この中にあてはまるものはない
全体（MA）		(220)	42.7	41.4	39.5	38.6	38.2	-	10.0
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	49.3	54.7	48.0	49.3	49.3	-	5.3
	一部関与者	(145)	39.3	34.5	35.2	33.1	32.4	-	12.4
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	44.7	41.9	41.9	40.8	38.5	-	6.7
	導入/取引関与者（IT）	(164)	43.3	43.3	43.3	39.6	39.6	-	7.3
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	44.4	43.1	45.1	42.5	39.9	-	7.8
	導入/取引関与者（DX）	(160)	43.8	43.1	42.5	42.5	38.1	-	6.9
	いずれも関与なし	(41)	34.1	39.0	29.3	29.3	36.6	-	24.4
関与業務	事業開発	(170)	44.1	45.9	41.2	42.4	38.8	-	7.1
	経営戦略	(178)	44.4	44.4	40.4	41.0	38.2	-	9.6
	購買	(149)	45.0	46.3	39.6	39.6	40.3	-	8.1
	総務	(157)	45.2	43.3	39.5	41.4	35.7	-	8.9
職業	経営者・役員	(11)	36.4	54.5	27.3	9.1	45.5	-	18.2
	会社員	(209)	43.1	40.7	40.2	40.2	37.8	-	9.6
全体（SA）		(220)	18.6	17.3	18.2	18.6	17.3	-	10.0

※「全体（MA）」のスコアで降順にソート

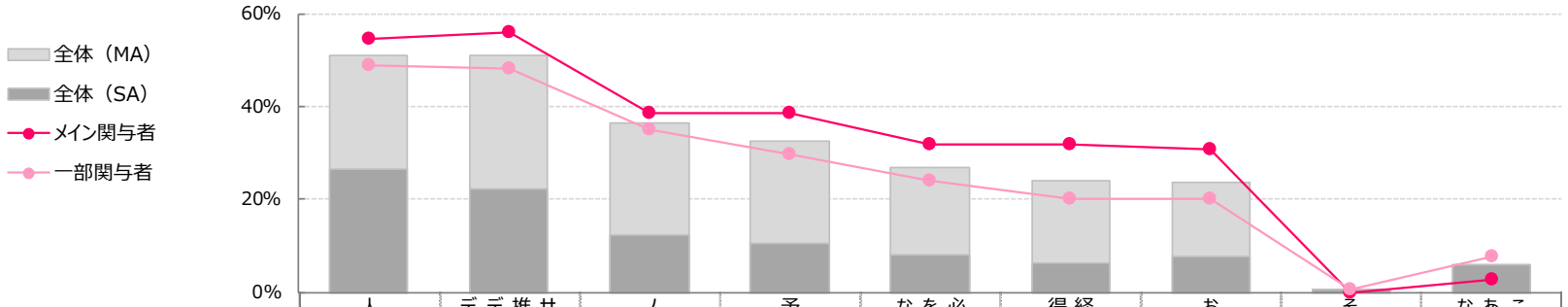
©2023 PURE STORAGE

2-5. サステナビリティの取り組みの課題

- ✓ 取り組みの課題について、全体では「人材・人員不足」「サステナビリティ推進に必要なデータが不十分／データの質が悪い」が 51% でトップに挙げられる。
  以下、「ノウハウがない」が 36%、「予算不足」が 33%、「必要なプログラムを実施する権限がない」が 27% で続く。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、いずれの課題も『メイン関与者』が『一部関与者』のスコアを上回る。
  特に「経営陣の賛同が得られない」「お客様からの要望」で差が目立つ。

Q5 サステナビリティの取り組みについて、課題に感じていることはありますか。あてはまるものを全てお選びください。また、最もあてはまるものをひとつだけお選びください。 **MASA**

※全ベース



n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ﾎﾟｲﾝﾄ
- 全体 +5ﾎﾟｲﾝﾄ
- 全体 -5ﾎﾟｲﾝﾄ
- 全体-10ﾎﾟｲﾝﾄ

		n=	人材・人員不足	データの質が悪い／データが不十分／サステナビリティ推進に必要な	ノウハウがない	予算不足	必要なプログラムを実施する権限がない	経営陣の賛同が得られない	お客様からの要望	その他	この中にあてはまるものはない
全体（MA）		(220)	50.9	50.9	36.4	32.7	26.8	24.1	23.6	0.5	5.9
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	54.7	56.0	38.7	38.7	32.0	32.0	30.7	-	2.7
	一部関与者	(145)	49.0	48.3	35.2	29.7	24.1	20.0	20.0	0.7	7.6
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	49.7	52.5	36.9	33.5	27.9	24.6	26.3	-	5.6
	導入/取引関与者（IT）	(164)	50.0	53.7	36.6	34.1	28.7	23.8	26.2	-	6.1
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	52.9	52.3	35.9	36.6	26.8	25.5	26.1	-	6.5
	導入/取引関与者（DX）	(160)	51.3	53.8	37.5	31.9	26.3	24.4	26.3	-	5.6
	いずれも関与なし	(41)	56.1	43.9	34.1	29.3	22.0	22.0	12.2	2.4	7.3
関与業務	事業開発	(170)	53.5	51.2	37.6	33.5	28.2	24.7	27.6	-	3.5
	経営戦略	(178)	51.7	47.8	40.4	33.7	27.5	23.6	25.8	0.6	5.6
	購買	(149)	51.7	50.3	34.2	35.6	29.5	28.2	28.2	-	5.4
	総務	(157)	50.3	49.7	34.4	35.0	29.3	28.0	28.0	-	4.5
職業	経営者・役員	(11)	45.5	54.5	18.2	27.3	18.2	27.3	36.4	-	18.2
	会社員	(209)	51.2	50.7	37.3	33.0	27.3	23.9	23.0	0.5	5.3
全体（SA）		(220)	26.4	22.3	12.3	10.5	8.2	6.4	7.7	0.5	5.9

※「全体（MA）」のスコアで降順にソート

©2023 PURE STORAGE

2-6. サステナビリティの取り組みに対する経営陣の姿勢

- ✓ 経営陣の姿勢として、全体では「優先的に取り組んでいる」が 30%、「CSR 的に位置づけに置いている」が 53%、「PR キャンペーンのように扱っている」が 10% となっており、優先的に取り組んでいる・計は 92%。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、「優先的に取り組んでいる」は『メイン関与者』で 44% と高く、『一部関与者』の 23% を大きく上回る。

Q6 サステナビリティの取り組みに対する、あなたの所属組織の経営陣の姿勢として、最も近いものは次のうちどれですか。 **SA**

※全ベース

n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体-10ポイント

■ 優先的に取り組んでいる　■ 優先的に取り組んでおり、どちらかというとCSR的な位置づけにおいている　□ 優先的に取り組んでおり、PRキャンペーンのように扱っている　□ 特に優先事項ととらえていない

		n=	優先的に取り組んでいる	優先的に取り組んでおり、どちらかというとCSR的な位置づけにおいている	優先的に取り組んでおり、PRキャンペーンのように扱っている	特に優先事項ととらえていない	取り組んでいる・計(TOP3)
全体		(220)	30.0	52.7	9.5	7.7	92.3
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	44.0	44.0	6.7	5.3	94.7
	一部関与者	(145)	22.8	57.2	11.0	9.0	91.0
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	31.8	52.0	8.9	7.3	92.7
	導入/取引関与者（IT）	(164)	33.5	50.6	8.5	7.3	92.7
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	34.0	50.3	7.8	7.8	92.2
	導入/取引関与者（DX）	(160)	33.8	50.0	8.8	7.5	92.5
	いずれも関与なし	(41)	22.0	56.1	12.2	9.8	90.2
関与業務	事業開発	(170)	32.9	52.4	7.1	7.6	92.4
	経営戦略	(178)	32.6	51.1	6.7	9.6	90.4
	購買	(149)	34.9	49.0	8.1	8.1	91.9
	総務	(157)	34.4	50.3	7.6	7.6	92.4
職業	経営者・役員	(11)	27.3	54.5	18.2		81.8
	会社員	(209)	30.1	52.6	10.0	7.2	92.8

※3.0%未満のスコアは非表示　※取り組んでいる・計（TOP3）：「優先的に取り組んでいる」～「優先的に取り組んでおり、PRキャンペーンのように扱っている」

©2023 PURE STORAGE

2-7. 経営戦略におけるサステナビリティの取り組みの位置づけ

- ✓ 経営戦略におけるサステナビリティ取り組みの落とし込みについて、全体では「戦略的に落とし込んでいる」が 55%、「今後落とし込む予定である」が 37% となっており、落とし込んでいる（予定がある）・計は 92%。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、落とし込んでいる（予定がある）・計はいずれも 9 割超と大きな差は見られないが、「戦略的に落とし込んでいる」は『メイン関与者』で 64% と高く、『一部関与者』の 50% との差が目立つ。

Q7 あなたの所属組織では、中核となる経営戦略にサステナビリティの取り組みを落とし込んでいますか。 **SA**

※全ベース

n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体-10ポイント

■経営戦略に落とし込んでいる　□まだ落とし込んでいないが、今後、落とし込む予定である　□落とし込む予定はない／分からない

		n=	経営戦略に落とし込んでいる	まだ落とし込んでいないが、今後、落とし込む予定である	落とし込む予定はない／分からない	落とし込んでいる（予定がある）・計（TOP2）
全体		(220)	55.0	37.3	7.7	92.3
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	64.0	30.7	5.3	94.7
	一部関与者	(145)	50.3	40.7	9.0	91.0
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	54.7	38.5	6.7	93.3
	導入/取引関与者（IT）	(164)	55.5	37.8	6.7	93.3
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	57.5	35.3	7.2	92.8
	導入/取引関与者（DX）	(160)	56.3	37.5	6.3	93.8
	いずれも関与なし	(41)	56.1	31.7	12.2	87.8
関与業務	事業開発	(170)	59.4	35.3	5.3	94.7
	経営戦略	(178)	57.3	36.0	6.7	93.3
	購買	(149)	54.4	37.6	8.1	91.9
	総務	(157)	55.4	37.6	7.0	93.0
職業	経営者・役員	(11)	63.6	18.2	18.2	81.8
	会社員	(209)	54.5	38.3	7.2	92.8

※3.0%未満のスコアは非表示

※落とし込んでいる（予定がある）・計（TOP2）：「経営戦略に落とし込んでいる」+「まだ落とし込んでいないが、今後、落とし込む予定である」

©2023 PURE STORAGE

2-8. 炭素排出量・電力消費量の削減計画

- ✓ 炭素排出量・電力消費量の削減計画について、全体では「計画はあり、削減に取り組んでいる」が 55%、「計画はあるが、まだ取り組めていない」が 29%、「計画はまだないが、1 年以内に計画を立てる予定」が 12% となっており、計画（予定）がある・計は 96%。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、計画（予定）がある・計はいずれも 9 割超と大きな差は見られないが、「計画はあり、削減に取り組んでいる」は『メイン関与者』で 63% と高く、『一部関与者』の 50% との差が目立つ。

Q8 あなたの所属組織で、炭素排出量や電力消費量を削減する計画はありますか。 **SA**

※全ベース

n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体-10ポイント

■計画はあり、削減に取り組んでいる　■計画はあるが、まだ取り組めていない　□計画はまだないが、1年以内に計画を立てる予定だ　□計画を立てる予定は当分ない

		n=	計画はあり、削減に取り組んでいる	計画はあるが、まだ取り組めていない	計画はまだないが、1年以内に計画を立てる予定だ	計画を立てる予定は当分ない	計画（予定）がある・計（TOP3）
全体		(220)	54.5	29.1	12.3	4.1	95.9
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	62.7	28.0	6.7		97.3
	一部関与者	(145)	50.3	29.7	15.2	4.8	95.2
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	52.5	31.8	12.8		97.2
	導入/取引関与者（IT）	(164)	53.0	31.7	12.8		97.6
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	53.6	33.3	10.5		97.4
	導入/取引関与者（DX）	(160)	52.5	34.4	10.0	3.1	96.9
	いずれも関与なし	(41)	63.4	17.1	9.8	9.8	90.2
関与業務	事業開発	(170)	55.9	30.0	10.6	3.5	96.5
	経営戦略	(178)	55.6	28.7	11.8	3.9	96.1
	購買	(149)	51.0	28.9	16.1	4.0	96.0
	総務	(157)	52.9	31.8	11.5	3.8	96.2
職業	経営者・役員	(11)	54.5	36.4	9.1		90.9
	会社員	(209)	54.5	28.7	12.9	3.8	96.2

※3.0%未満のスコアは非表示　※計画（予定）がある・計（TOP3）：「計画はあり、削減に取り組んでいる」～「計画はまだないが、1年以内に計画を立てる予定だ」

©2023 PURE STORAGE

2-9. ベンダー選定におけるサステナビリティの重要度

- ✓ ベンダー選定時のサステナビリティ重要度について、全体では「最優先事項である」が 35%、「優先事項ではあるが、最優先事項ではない」が 50% となっており、優先事項・計は 85%。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、「最優先事項である」割合は『メイン関与者』で 51% と高く、『一部関与者』の 26% を大きく上回る。
- ✓ 導入／取引関与有無別で見ると、『いずれも関与なし』層は優先事項・計が 7 割弱にとどまり、他層と比べてサステナビリティの重要視割合が低い。

Q13S1 DX 推進・またはベンダー選定において、サステナビリティはどの程度重要ですか。※DX 推進・ベンダー選定に関与していない方は、関与した場合をイメージしてお選びください。【ベンダー選定におけるサステナビリティ】 **SA**

※全ベース

n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体-10ポイント

■最優先事項である　■優先事項ではあるが、最優先事項ではない　■比較的優先順位は低い　■全く考慮しない

		n=	最優先事項である	優先事項ではあるが、最優先事項ではない	比較的優先順位は低い	全く考慮しない	優先事項・計(TOP2)
全体		(220)	34.5	50.0	11.4	4.1	84.5
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	50.7	42.7	4.0		93.3
	一部関与者	(145)	26.2	53.8	15.2	4.8	80.0
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	38.5	49.7	8.9		88.3
	導入/取引関与者（IT）	(164)	37.8	50.6	8.5	3.0	88.4
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	39.9	49.0	8.5		88.9
	導入/取引関与者（DX）	(160)	40.6	48.1	8.8		88.8
	いずれも関与なし	(41)	17.1	51.2	22.0	9.8	68.3
関与業務	事業開発	(170)	39.4	47.1	10.0	3.5	86.5
	経営戦略	(178)	39.3	44.9	11.8	3.9	84.3
	購買	(149)	39.6	46.3	9.4	4.7	85.9
	総務	(157)	38.9	46.5	9.6	5.1	85.4
職業	経営者・役員	(11)	36.4	45.5	18.2		81.8
	会社員	(209)	34.4	50.2	12.0	3.3	84.7

※3.0%未満のスコアは非表示

※優先事項・計（TOP2）：「最優先事項である」+「優先事項ではあるが、最優先事項ではない」

©2023 PURE STORAGE

2-10. テクノロジー・インフラ導入時の意識

- ✓ テクノロジー・インフラ導入時の二酸化炭素排出量や電力消費量の重視度について、全体では「重視する」が 39%、「どちらかというと重視する」が 51% となっており、重視する・計は 90%。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、『メイン関与者』では「重視する」が 52%、重視する・計が 96% と高く、『一部関与者』のスコアを上回る。
- ✓ 導入／取引関与有無別で見ると、『いずれも関与なし』層は重視する・計が約 8 割にとどまり、他層と比べてやや低い。

Q14 テクノロジー・インフラ導入の際、二酸化炭素排出量や電力消費量をどの程度重視しますか。※テクノロジー・インフラ導入に関与していない方は、導入の場面をイメージしてお選びください。 **SA**

※全ベース

n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体-10ポイント

■重視する ■どちらかというと重視する ■どちらかというと重視しない ■重視しない

		n=	重視する	どちらかというと重視する	どちらかというと重視しない	重視しない	重視する・計(TOP2)
全体		(220)	38.6	50.9	8.2		89.5
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	52.0	44.0			96.0
	一部関与者	(145)	31.7	54.5	11.0		86.2
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	41.9	49.7	6.1		91.6
	導入/取引関与者（IT）	(164)	42.1	49.4	6.1		91.5
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	43.1	48.4	5.9		91.5
	導入/取引関与者（DX）	(160)	43.1	48.1	6.3		91.3
	いずれも関与なし	(41)	24.4	56.1	17.1		80.5
関与業務	事業開発	(170)	41.8	50.0	6.5		91.8
	経営戦略	(178)	39.3	51.1	7.3		90.4
	購買	(149)	42.3	47.0	7.4	3.4	89.3
	総務	(157)	40.8	49.7	7.0		90.4
職業	経営者・役員	(11)	27.3	54.5	9.1	9.1	81.8
	会社員	(209)	39.2	50.7	8.1		90.0

※3.0%未満のスコアは非表示

※重視する・計（TOP2）：「重視する」+「どちらかというと重視する」

©2023 PURE STORAGE

3. サステナビリティ推進における IT 部門の役割と課題

©2023 PURE STORAGE

3-1. IT・テクノロジーへの投資予定

- ✓ IT・テクノロジーへの投資予定について、全体では「計画があり、実行している」が 50%、「計画はあるが、まだ着手していない」が 35%、「予定はまだないが、計画したいと考えている」が 11% となっており、計画（予定）がある・計は 96%。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、計画（予定）がある・計は『メイン関与者』で 99%、『一部関与者』で 94% とやや開きがみられる。更に、「計画があり、実行している」は『メイン関与者』で 65%、『一部関与者』で 42% と差が大きい。

Q9 あなたの所属組織では、サステナビリティ向上のため、データ活用をはじめとする IT・テクノロジーへの投資を増加する予定がありますか。 **SA**

※全ベース

n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体-10ポイント

■予定があり、実行している　■予定はあるが、まだ着手していない　□予定はまだないが、計画したいと考えている　□予定は全くない

		n=	予定があり、実行している	予定はあるが、まだ着手していない	予定はまだないが、計画したいと考えている	予定は全くない	計画（予定）がある・計（TOP3）
全体		(220)	50.0	34.5	10.9	4.5	95.5
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	65.3	28.0	5.3		98.7
	一部関与者	(145)	42.1	37.9	13.8	6.2	93.8
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	53.6	35.2	7.3	3.9	96.1
	導入/取引関与者（IT）	(164)	53.7	34.8	7.3	4.3	95.7
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	56.9	32.7	6.5	3.9	96.1
	導入/取引関与者（DX）	(160)	53.8	35.6	6.3	4.4	95.6
	いずれも関与なし	(41)	34.1	31.7	26.8	7.3	92.7
関与業務	事業開発	(170)	54.7	33.5	8.2	3.5	96.5
	経営戦略	(178)	52.8	34.3	8.4	4.5	95.5
	購買	(149)	51.7	32.9	11.4	4.0	96.0
	総務	(157)	51.6	35.0	9.6	3.8	96.2
職業	経営者・役員	(11)	54.5	27.3	18.2		81.8
	会社員	(209)	49.8	34.9	11.5	3.8	96.2

※3.0%未満のスコアは非表示

※計画（予定）がある・計（TOP3）：「予定があり、実行している」～「予定はまだないが、計画したいと考えている」

©2023 PURE STORAGE

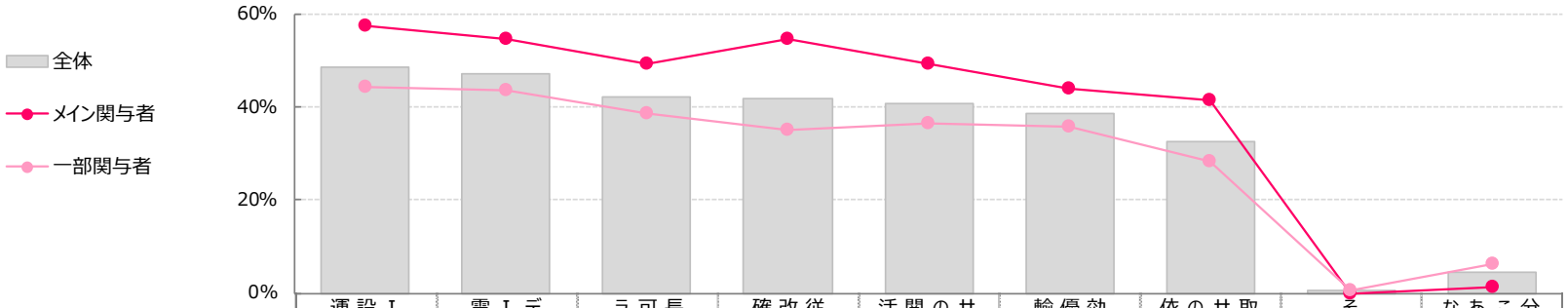
3-2. IT 部門の役割

- ✓ IT 部門の役割について、全体では「IT インフラ・設備の効率的な運用」が 49% でトップ。以下、「データセンターや IT インフラの電力消費量削減」が 47%、「長期利用・再利用可能な IT インフラ・設備の選定」「従業員の労働環境改善や安全・健康確保へのIT利用」が 42% で続く。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、いずれの課題も『メイン関与者』が『一部関与者』を上回る。特に「従業員の労働環境改善や安全・健康確保への IT 利用」で差が大きい。

Q10 あなたの所属組織の IT 部門は、サステナビリティの取り組みを推進するうえで、どのような役割を担っていますか。あてはまるものを全てお選びください。
※所属組織に IT 部門がない方は、IT を担当される方をイメージしてお選びください。

MA

※全ベース



n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体-10ポイント

		n=	IT インフラ・設備の効率的な運用	データセンターや IT インフラの電力消費量削減	長期利用・再利用可能な IT インフラ・設備の選定	従業員の労働環境改善や安全・健康確保への IT 利用	サステナビリティに関する取り組みデータ活用・データ報告	効率的で環境に優しい移動や輸送の検討	取引先へのサステナビリティの取り組みの依頼・評価	その他	この中にあてはまるものはない・分からない
全体		(220)	48.6	47.3	42.3	41.8	40.9	38.6	32.7	0.5	4.5
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	57.3	54.7	49.3	54.7	49.3	44.0	41.3	-	1.3
	一部関与者	(145)	44.1	43.4	38.6	35.2	36.6	35.9	28.3	0.7	6.2
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	51.4	49.7	46.4	44.1	43.0	40.2	31.8	-	3.4
	導入/取引関与者（IT）	(164)	51.2	50.6	46.3	45.1	43.3	40.2	32.9	-	3.7
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	51.6	51.6	46.4	47.7	43.8	39.9	33.3	-	3.3
	導入/取引関与者（DX）	(160)	54.4	50.0	49.4	45.0	43.1	40.0	30.6	-	3.8
	いずれも関与なし	(41)	36.6	36.6	24.4	31.7	31.7	31.7	36.6	2.4	9.8
関与業務	事業開発	(170)	51.2	51.2	47.1	43.5	41.8	41.2	37.6	-	4.7
	経営戦略	(178)	48.9	48.9	45.5	41.6	42.7	38.8	35.4	-	5.6
	購買	(149)	47.7	49.0	40.9	44.3	40.3	38.3	35.6	0.7	3.4
	総務	(157)	45.9	47.8	42.0	45.2	38.9	41.4	35.0	-	4.5
職業	経営者・役員	(11)	45.5	45.5	54.5	36.4	36.4	45.5	45.5	-	18.2
	会社員	(209)	48.8	47.4	41.6	42.1	41.1	38.3	32.1	0.5	3.8

※「全体」のスコアで降順にソート

©2023 PURE STORAGE

3-3. IT 部門に対する意識（IT 部門がサステナビリティの取り組みを行うことは重要である）

- ✓ IT 部門がサステナビリティ取り組みを行うことの重要度について、全体では「あてはまる」が 48%、「ややあてはまる」が 44% となっており、あてはまる・計は 92%。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、「あてはまる」のは『メイン関与者』で 68% と高く、『一部関与者』の 38% を大きく上回る。
- ✓ 導入／取引関与有無別で見ると、『いずれも関与なし』層のあてはまる・計は 8 割強にとどまり、他層と比べて低め。

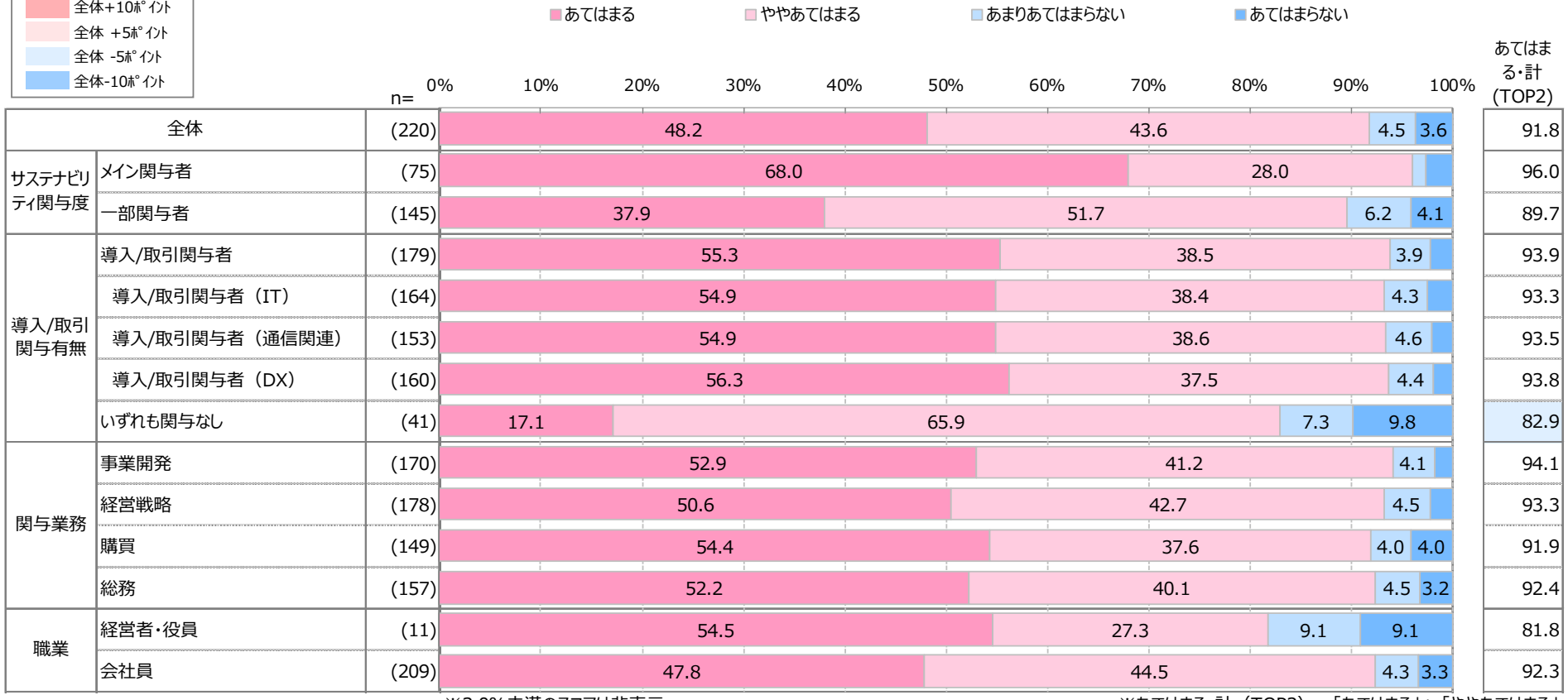
Q11S1 あなたの所属組織の IT 部門についてお聞きします。所属組織のサステナビリティ実現における、IT 部門の課題についてどのように考えていますか。それぞれあてはまるものをお選びください。
※所属組織に IT 部門がない方は、IT を担当される方をイメージしてお選びください。【IT 部門がサステナビリティの取り組みを行うことは重要である】

SA

※全ベース

n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体-10ポイント



		n=	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる・計 (TOP2)
全体		(220)	48.2	43.6	4.5	3.6	91.8
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	68.0	28.0			96.0
	一部関与者	(145)	37.9	51.7	6.2	4.1	89.7
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	55.3	38.5	3.9		93.9
	導入/取引関与者（IT）	(164)	54.9	38.4	4.3		93.3
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	54.9	38.6	4.6		93.5
	導入/取引関与者（DX）	(160)	56.3	37.5	4.4		93.8
	いずれも関与なし	(41)	17.1	65.9	7.3	9.8	82.9
関与業務	事業開発	(170)	52.9	41.2	4.1		94.1
	経営戦略	(178)	50.6	42.7	4.5		93.3
	購買	(149)	54.4	37.6	4.0	4.0	91.9
	総務	(157)	52.2	40.1	4.5	3.2	92.4
職業	経営者・役員	(11)	54.5	27.3	9.1	9.1	81.8
	会社員	(209)	47.8	44.5	4.3	3.3	92.3

※3.0%未満のスコアは非表示

※あてはまる・計（TOP2）：「あてはまる」+「ややあてはまる」

©2023 PURE STORAGE

3-4. IT 部門に対する意識（IT 部門は、他部門に比べ、サステナビリティの取り組みを優先している）

- ✓ IT 部門が他部門に比べてサステナビリティ取り組み優先しているかについて、全体では「あてはまる」が 38%、「ややあてはまる」が 42% となっており、あてはまる・計は 80%。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、『メイン関与者』では「あてはまる」が57%、あてはまる・計が 89% と高く、『一部関与者』のスコアを上回る。
- ✓ 導入／取引関与有無別で見ると、『いずれも関与なし』層のあてはまる・計は約 7 割にとどまり、他層と比べて低め。

Q11S2 あなたの所属組織の IT 部門についてお聞きします。所属組織のサステナビリティ実現における、IT 部門の課題についてどのように考えていますか。それぞれあてはまるものをお選びください。
※所属組織に IT 部門がない方は、IT を担当される方をイメージしてお選びください。【IT 部門は、他部門に比べ、サステナビリティの取り組みを優先している】

SA

※全ベース

n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体-10ポイント

		n=	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる・計 (TOP2)
全体		(220)	37.7	42.3	15.5	4.5	80.0
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	57.3	32.0	6.7	4.0	89.3
	一部関与者	(145)	27.6	47.6	20.0	4.8	75.2
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	43.0	39.1	14.5	3.4	82.1
	導入/取引関与者（IT）	(164)	43.9	38.4	15.2		82.3
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	45.8	38.6	13.1		84.3
	導入/取引関与者（DX）	(160)	41.9	40.6	13.8	3.8	82.5
	いずれも関与なし	(41)	14.6	56.1	19.5	9.8	70.7
関与業務	事業開発	(170)	43.5	40.0	12.9	3.5	83.5
	経営戦略	(178)	40.4	41.0	14.0	4.5	81.5
	購買	(149)	47.0	36.2	12.8	4.0	83.2
	総務	(157)	41.4	41.4	13.4	3.8	82.8
職業	経営者・役員	(11)	27.3	54.5	18.2		81.8
	会社員	(209)	38.3	41.6	16.3	3.8	79.9

※3.0%未満のスコアは非表示

※あてはまる・計（TOP2）：「あてはまる」+「ややあてはまる」

©2023 PURE STORAGE

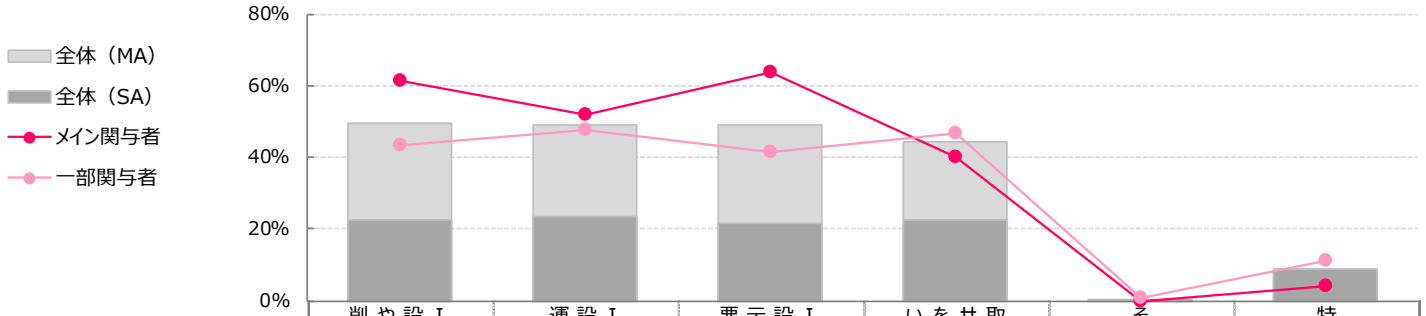
3-5. IT 部門の課題

- ✓ IT 部門の課題について、全体では「IT インフラや設備の炭素排出量や電力消費量の削減が不十分」が 50% でトップ、「ITインフラや設備を効率的に運用できていない」「IT インフラや設備の運用状況を示すデータの質が悪い／不十分」が 49% と僅差で次ぐ。
  なお、SA で見ると、「IT インフラや設備を効率的に運用できていない」が 24% でトップに挙げられており、MA と並びが異なる。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、「取引先のサステナビリティを考慮できていない」以外は、『メイン関与者』が『一部関与者』のスコアを上回る。

Q12 あなたの組織のサステナビリティの取り組みにおいて、IT 部門の課題があるとすれば、どのようなことですか。あてはまるものを全てお選びください。また、最もあてはまるものをひとつだけお選びください。
※所属組織に IT 部門がない方は、IT を担当される方をイメージしてお選びください。

MASA

※全ベース



n=30以上の場合
[比率の差]
全体+10ﾎﾟｲﾝﾄ
全体 +5ﾎﾟｲﾝﾄ
全体 -5ﾎﾟｲﾝﾄ
全体-10ﾎﾟｲﾝﾄ

		n=	ITインフラや設備の炭素排出量や電力消費量の削減が不十分	ITインフラや設備を効率的に運用できていない	ITインフラや設備の運用状況を示すデータの質が悪い／不十分	取引先のサステナビリティを考慮できていない	その他	特に課題はない
全体（MA）		(220)	49.5	49.1	49.1	44.5	0.5	8.6
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	61.3	52.0	64.0	40.0	-	4.0
	一部関与者	(145)	43.4	47.6	41.4	46.9	0.7	11.0
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	49.2	47.5	50.8	43.0	-	6.1
	導入/取引関与者（IT）	(164)	48.8	47.6	51.2	42.1	-	6.7
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	50.3	48.4	52.3	43.1	-	6.5
	導入/取引関与者（DX）	(160)	51.3	46.9	50.6	41.3	-	6.9
	いずれも関与なし	(41)	51.2	56.1	41.5	51.2	2.4	19.5
関与業務	事業開発	(170)	54.1	49.4	50.6	45.9	-	5.3
	経営戦略	(178)	51.7	50.0	50.0	43.8	-	8.4
	購買	(149)	54.4	50.3	51.7	45.6	0.7	6.0
	総務	(157)	52.9	44.6	54.8	45.2	-	7.6
職業	経営者・役員	(11)	45.5	27.3	63.6	18.2	-	18.2
	会社員	(209)	49.8	50.2	48.3	45.9	0.5	8.1
全体（SA）		(220)	22.7	23.6	21.8	22.7	0.5	8.6

※「全体（MA）」のスコアで降順にソート

©2023 PURE STORAGE

4. DX 推進におけるサステナビリティの位置づけ

©2023 PURE STORAGE

4-1. DX 推進におけるサステナビリティの重要度

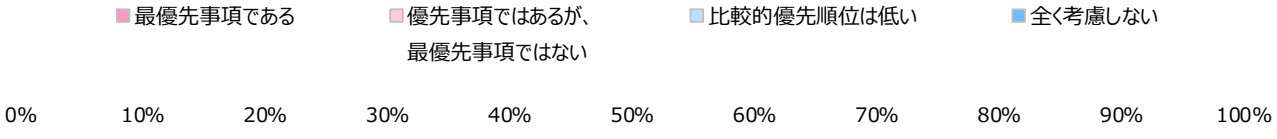
- ✓ DX 推進におけるサステナビリティ重要度について、全体では「最優先事項である」が 38%、「優先事項ではあるが最優先事項ではない」が 50% となっており、優先事項・計は 87%。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、『メイン関与者』では「最優先事項である」が 53%、優先事項・計が 97% と高く、『一部関与者』のスコアを大きく上回る。導入／取引関与有無別で見ると、『いずれも関与なし』層は優先事項・計が約 7 割にとどまり、他層と比べてサステナビリティの重要視割合が低い。

Q13S2 DX 推進・またはベンダー選定において、サステナビリティはどの程度重要ですか。※DX 推進・ベンダー選定に関与していない方は、関与した場合をイメージしてお選びください。【DX 推進におけるサステナビリティ】 **SA**

※全ベース

n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ﾎﾟｲﾝﾄ
- 全体 +5ﾎﾟｲﾝﾄ
- 全体 -5ﾎﾟｲﾝﾄ
- 全体-10ﾎﾟｲﾝﾄ



		n=	最優先事項である	優先事項ではあるが、最優先事項ではない	比較的優先順位は低い	全く考慮しない	優先事項・計(TOP2)
全体		(220)	37.7	49.5	9.1	3.6	87.3
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	53.3	44.0			97.3
	一部関与者	(145)	29.7	52.4	13.1	4.8	82.1
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	39.7	51.4	6.7		91.1
	導入/取引関与者（IT）	(164)	39.0	52.4	6.1		91.5
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	41.2	49.7	6.5		90.8
	導入/取引関与者（DX）	(160)	43.8	46.9	6.9		90.6
	いずれも関与なし	(41)	29.3	41.5	19.5	9.8	70.7
関与業務	事業開発	(170)	42.9	46.5	7.6		89.4
	経営戦略	(178)	42.1	48.3	6.2	3.4	90.4
	購買	(149)	40.9	49.7	6.0	3.4	90.6
	総務	(157)	40.1	49.0	7.0	3.8	89.2
職業	経営者・役員	(11)	72.7	9.1	18.2		81.8
	会社員	(209)	35.9	51.7	9.6		87.6

※3.0%未満のスコアは非表示

※優先事項・計（TOP2）：「最優先事項である」+「優先事項ではあるが、最優先事項ではない」

©2023 PURE STORAGE

4-2. DX 推進時におけるサステナビリティの考慮状況

- ✓ DX 推進時のサステナビリティ考慮状況について、全体では「適切に考慮している」が 33%、「考慮はしているが、さらに考慮の余地がある」が 58%、「現在考慮に入れていないが、入れる予定である」が 6% となっており、考慮（予定）している・計は 97%。
- ✓ サステナビリティ関与度別で見ると、考慮（予定）している・計では大きな差は見られないが、「適切に考慮している」は『メイン関与者』で 45% と高く、『一部関与者』の 26% との差が目立つ。

Q15　DX を進めるにあたり、サステナビリティをどの程度考慮に入れていますか。もしくは入れる予定がありますか。※DX 推進に関与していない方は、関与した場合を想像してお選びください。　**SA**

※全ベース

n=30以上の場合

[比率の差]
- 全体+10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体-10ポイント

■適切に考慮している　■考慮はしているが、さらに考慮の余地がある　■現在考慮に入れていないが、入れる予定である　□考慮に入れておらず、入れる予定もない

		n=	適切に考慮している	考慮はしているが、さらに考慮の余地がある	現在考慮に入れていないが、入れる予定である	考慮に入れておらず、入れる予定もない	考慮（予定）している・計（TOP3）
全体		(220)	32.7	58.2	6.4		97.3
サステナビリティ関与度	メイン関与者	(75)	45.3	50.7			98.7
	一部関与者	(145)	26.2	62.1	8.3	3.4	96.6
導入/取引関与有無	導入/取引関与者	(179)	36.3	57.5	3.9		97.8
	導入/取引関与者（IT）	(164)	35.4	57.9	4.3		97.6
	導入/取引関与者（通信関連）	(153)	38.6	55.6	3.3		97.4
	導入/取引関与者（DX）	(160)	38.1	55.6	3.8		97.5
	いずれも関与なし	(41)	17.1	61.0	17.1	4.9	95.1
関与業務	事業開発	(170)	36.5	55.3	5.9		97.6
	経営戦略	(178)	34.8	57.3	5.1		97.2
	購買	(149)	34.2	57.7	5.4		97.3
	総務	(157)	36.3	54.8	6.4		97.5
職業	経営者・役員	(11)	27.3	54.5	18.2		81.8
	会社員	(209)	33.0	58.4	6.7		98.1

※3.0%未満のスコアは非表示　※考慮（予定）している・計（TOP3）：「適切に考慮している」～「現在考慮に入れていないが、入れる予定である」

©2023 PURE STORAGE

データ・ストレージをいつまでもシンプルに